

# アジア市場の重要性と 商社の役割

世界経済の中で存在感が高まり続けているアジア経済。経済成長寄与率の高いアジア各国で、強固なサプライチェーンを構築している日本企業と商社に求められる役割も比例するように拡大を続けている。日本が掲げる成長戦略の中で、海外の成長を取り込む国際展開戦略の重要な柱であるインフラ整備と広域経済連携は、グローバル経済の高度化に大きく貢献する。こうしたなか、アジア経済の成長に寄与する日本の施策と商社の機能の重要性について、日本貿易会（JFTC）に聞いた。

## 著しい経済成長で 存在感高まるアジア市場

アジア経済については、最近中国・インドなど一部の国において経済成長の減速が見られるものの、今後も世界経済をけん引する役割自体に変化はなく、世界市場における存在感は一層高まっている。

国際通貨基金（IMF）によれば、期間別（1980～2000年と2000～18年と比較）の世界の経済成長に対する寄与率では、中国が4・6%から21・1%へ、インドが1・3%から3・8%、ASEAN5カ国（インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム）が1・3%から4・2%へと軒並み上昇率が顕著となっている。

特にアジア各国市場のポリューム・ゾーンである中間層の伸びが大きく、このことが今後の経済成長を裏付ける大きな要因の一つである。

国際分業の環から  
サプライチェーン構築

グローバル経済が進展するなか、日本企業は生産コストの削減や円高に対応するため、国際分業の環として積極的なアジア展開を進め、同地域における貿易自由化と相まって、域内における強固なサプライチェーンを構築している。

今や、日本企業にとって域内でのサプライチェーン

の高度化は経営戦略上不可欠であり、アジア各国での賃金上昇や過度な円高の修正が見られる現在にあって、アジア展開の重要性と拡大傾向は継続すると見込まれる。

今後さらなる経済発展を目指すアジア地域では物流網構築や電力供給に加え、省エネや環境技術関連などのインフラ整備は不可欠で、インフラ需要はますます拡大するものと期待される。アジア開発銀行によれば、2010～20年が必要とされるインフラ総投資額は累計で8兆米に達すると予想されている。

昨年6月に政府から発表された「日本再興戦略」には、成長するアジア経済を取り込む国際展開戦略の重要な柱としてインフラシステム輸出を位置付けており、その意味でもわが国にとってアジア市場はますます重要なマーケットである。

アジアと日本が目指す  
経済連携

日本貿易会ではこれまでにも日経「アジアの未来」の特集でも意見広告をしているが、「アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）の実現」を目指すべく、その道程として、RCEP（ASEAN16、日中韓FTAなどのアジア地域にお

ける経済連携およびTPP（環太平洋経済連携協定）の推進を積極的に提言している。経済連携の推進は域内関税引き下げ・撤廃とともに、わが国企業による対外投資の保護・促進、国際的

二重課税の調整を進め、結果として、ヒト・モノ・カネ・情報の自由な動きを図り、なかでも上述した強固なサプライチェーンの構築に大きく貢献する。

政府はインフラシステム

の海外展開推進策を具体的に検討すべく、昨年6月に「経協インフラ戦略会議」を設置した。日本貿易会としても、一昨年6月以来、インフラシステム輸出の国際競争力強化に向けた官民連携策として、国際協力銀行（JBIC）、国際協力機構（JICA）、日本貿易保険（NEXI）の公的金融機能の拡充を要望してきた。

その結果、JICA海外

投資の再開やテロなど有事の際のNEXI海外投資保険の条件緩和を盛り込んだ貿易保険法改正など、日本貿易会の要望が着実に実現している。

ボーダーレス化のなが  
広がる商社の役割

インフラシステム輸出推進に向けて商社は、案件組成・ファイナンスの段階で

は、当該国の需要や地域特性などの情報収集・分析を通じた案件の発掘と提案、および資金調達の枠組みを組成する役割を果たしている。さらに、設計・調達・建設ではロジスティクスの手配、相手政府関係者との交渉、管理・運営では事業コストを管理しながら利益を確保する経営を担っている。アジアにおける具体的なインフラ事業としては、マンマレーのティラワ、ダウエー地区などの工業団地をはじめ、インドネシアの経済回廊構想、インドのデリー・ムンバイ産業大動脈などがあげられる。

## 第10回 日本貿易会賞 懸賞論文募集

テーマなど募集の詳細は、6月中旬発表予定

[www.jftc.or.jp/discourse/](http://www.jftc.or.jp/discourse/)

賞金：日本貿易会賞 大賞 100万円 1点  
優秀賞 20万円 3点

言語：日本語もしくは英語

応募資格：不問（年齢・国籍等は問いません）

応募締切：2014年9月12日、日本時間24:00

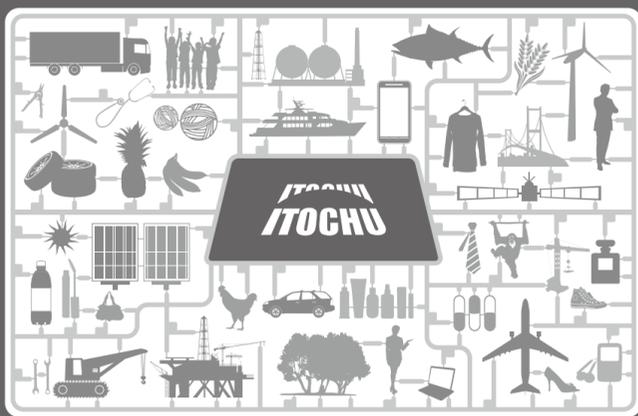
審査委員長：経済産業研究所 理事長 中島厚志氏

審査副委員長：中央公論新社 中央公論編集主幹 兼 編集長 安部順一氏

専修大学経済学部教授 伊藤恵子氏

※問い合わせ先 日本貿易会 広報グループ  
(03)3435-5964 e-mail:kouhou@jftc.or.jp

## We Build Global Value Chains



Committed to the Global Good  
ITOCHU Corporation  
[www.itochu.co.jp](http://www.itochu.co.jp)

## 日本貿易会の新キャッチフレーズ

つなぐ世界、むすぶ心 ~新たな英知で世界に貢献~

本年5月30日付にて、日本貿易会の会長は、三井物産・榎田松瑩会長に代わり、新たに伊藤忠商事・小林栄三会長が就任し、「つなぐ世界、むすぶ心~新たな英知で世界に貢献~」という新キャッチフレーズを発表した。まさに、アジアをはじめとする世界各国で

ボーダーレス化が進展するなかで、商社業界の英知を結集。日本が世界と広くつながり、ビジネスだけではなく、多様な価値観を持つ世界の人々としっかり心をつなぐことで世界経済と社会の発展に貢献すべく積極的に提言活動などを展開している。

## 道に夢。人に力。大地に輝。

豊田通商の活躍フィールドは広大。長年にわたるモビリティ分野での経験・ノウハウを活かし、ライフ&コミュニティやアース&リソースの分野でも現地社会に貢献しています。私たちは現地と生きる『価値創造商社』です。



GLOBAL 2020 VISION  
TRY  
Life & Community, Earth & Resources, Mobility  
3つの分野で事業の柱を確立し、事業シナジーを創出



sojitz New way. New value  
双日グループは、誠実な心で世界を結び、新たな価値と豊かな未来を創造します。



双日株式会社  
[www.sojitz.com](http://www.sojitz.com)

アジアの  
これからを  
ともに  
作りだす。



豊かな未来を、たしかな仕事でカタチにします。  
住友商事  
<http://www.sumitomocorp.co.jp>

## 絵本でつなぐ、 こどもたちの地球と未来

総合商社の、つぎへ 三菱商事

## 世界中で、 挑戦と創造。



最前線へ。  
無限の可能性を求めて、新たな未来を切り拓く。

三井物産  
[www.mitsui.com/jp](http://www.mitsui.com/jp)



「学校に通うことができ、本当に嬉しいです。頑張って勉強して、しっかりと技術を身に付けたいです。」  
アジアの未来に期待する、丸紅の奨学基金です。

丸紅は奨学基金制度によってアジア諸国の学生を支援しています。Marubeni